


整理番号	HT26052	分野	人文・社会	(キーワード)アートコミュニケーション
------	---------	----	-------	---------------------

千葉大学

【自分を知る、人とつながる～アートコミュニケーションがつくるコミュニティの輪】

先生(代表者)	加藤 修(かとう おさむ)教育学部・教授			
自己紹介	2001年、文化庁の在外派遣研修員制度を利用しニューヨークに1年間滞在したが、その際、9.11を体験した。それ以降、アートにできることが何であるのかを考える日々が続き、2006年以降は、作品制作とアートプロジェクトを併行して活動展開している。その2者は、表出方法は異なるが、アートを用いた伝達方法としては同格なものと位置づけ、自己のオリジナルプランを開発している。 現在 日本教育大学協会 大学美術教育学会 二紀会会員			
開催日時・主な募集対象	平成26年8月8日(金)	(対象)	小学5、6年生及び中学生	(人数) 20名
集合場所・時間	千葉大学教育学部5号館1階講義室		(集合時間)	9時30分
開催会場(集合場所)	千葉大学 教育学部(西千葉キャンパス) 5号館 住所:〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町1-33 アクセスマップ: http://www.chiba-u.ac.jp/access/nishichiba/ http://www.chiba-u.ac.jp/campus_map/nishichiba/			
内 容				
<p>代表者は、美術活動を通して自己理解するとともに、他者理解をも促進する美術創作活動「アートボディコミュニケーション」を開発してきました(OK アートドリル/2008)。さらにこのアートボディコミュニケーションに個人個人をつなぎ創作活動を通して1つのコミュニティを作り出す機能を持たせたワークショップを開発し、2007年からは、このワークショップを核とした大学一般教養科目「アートをつくる」として、学生のコミュニケーション能力と課題解決能力を育成する授業を展開してきています。この活動をさらに展開し現在は、病院において病児・患者とのコミュニケーション手法の開発、街おこしプロジェクトの推進を行っています。ここでは、これらの成果から開発した手法を、より良い人間関係構築のための手段として学んでもらいます。これによりグローバル化の中にあっても自分をきちんと表現し、仲間の輪を作り、力強く生きてゆく能力の獲得を目指します。</p> <p>今回はアイスブレイキングとして、色彩カードを用い、色彩と感情の関係性にふれ、個々の参加者の共通性と個人差を確認します。そして、各自が色彩で感情表現をすると同時に、他者の作品から感情を理解する感覚を体験してもらいます。</p> <p>講義としては、さまざまな表現活動が、社会の中でどういった役割を果たしているかを、スライドを交えて紹介します。アートがさまざまな能力と可能性を持っていることに気がつくでしょう。</p> <p>その後は、ワークシートに従い、各自にとっての「住みたい国」を考えながら、感情や思いを色彩に重ね、その国の旗をつくります。各自が自己の考えを想起し、広げ、整理する際に、手を動かしながら思考・試行することの有効性が体験できます。</p>				

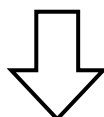
スケジュール	持ち物
9:30～10:00 受付(西千葉キャンパス教育学部 5号館 1階講義室)	筆記用具(鉛筆・消しゴム)
10:00～10:20 開校式(あいさつ、オリエンテーション、科研費の説明)	
10:20～11:00 アイスブレイキング (受講生間のアートコミュニケーションによる自己紹介)	特記事項
11:00～11:10 休憩	絵具等を使用しますので、 作業が可能な衣服で来て ください。
11:10～12:10 講義「美術とコミュニケーション」(途中適宜休憩)	
12:10～13:10 昼食及び交流会(教員、大学院生、卒研究生との交流)	
13:10～14:10 演習「心の色彩」	
14:10～14:20 クッキータイム	
14:20～15:40 演習「旗をつくる-住みたい国を考える」	
15:40～15:50 休憩	
15:50～16:10 振り返りと発表	
16:10～16:30 終了式(アンケート記入、未来の博士号授与)	

《お問い合わせ・お申し込み先》

所属・氏名：	教育学部・加藤 修 (かとう おさむ)
住 所：	〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 千葉大学教育学部加藤研究室
TEL 番号：	043-290-2655
FAX 番号：	なし
E-mail：	osamk37@faculty.chiba-u.jp
申込締切日：	平成26年7月11日(金)

《プログラムのテーマと関係する科研費》

研究代表者	研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
加藤 修	H23-H25	基盤研究(C)	23520154	大学教養教育における ESD とし ての地域活性化ワークショップの 展開



★この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<http://kaken.nii.ac.jp/>

※国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。